

# W. Co基金ニュース

# 4月号



2021年4月9日

発行責任：W.Co 基金委員会

委員長：小林 麻利子

2020年度は、コロナウイルスに悩ませられた1年だったのではないのでしょうか。基金委員の活動も、コロナ禍により大変ではありましたが、部門会議にて、事業継続が困難な団体や、コロナウイルスにより収益の減少等でお困りの団体はないか？など聞き取りを行って参りました。また、なかなか寄付金が集まらず、どのようにしたら基金に対しての周知・賛同が頂けるようになるか知恵を出し合い、呼びかけも続けて参りました。

お陰さまで、皆様のご賛同とご協力をいただき、目標額80万円に対し1,145,854円が集まり、申請された全5団体に、寄付金を給付することが出来ました。寄付にご協力頂きました皆様には、心よりお礼申し上げます。

世の中、落ち着く様子も未だ見られず、事業継続が困難な団体が増える事が今後も予想されます。皆様のお気持ちでW. Coを支え、助けとなります。W. Co全体に基金の輪が広がりますよう、本年度もご賛同・ご協力の程、宜しく願い申し上げます。 W.Co 基金委員 湯原菜緒子

W.Co 基金は W.Co の活動を継続していくために必要な  
金銭支援を行う互助の仕組みです。

今年度は新規助成の他に 2 回に分けてコロナ禍で事業的にきびしい  
W.Co の助成申請（上限20万円）を受け付けました。

運営で困ったときはまずは連合会にご相談ください。

W.Co 基金振替口座番号：ゆうちょ銀行 00270-5 94335

加入者名： 神奈川ワーカーズコレクティブ連合会

W.Co 基金を頂いて！

昨年1月に移転したばかりのWEショップ「こぶち店」は知名度も低いな  
なか、コロナ禍に見舞われた。休業、時間短縮営業で3店舗を運営するW  
E相模原の売上は低迷。「こぶち店」を知らせる広報費用も不足していたが、  
W.Co 基金を頂き、こぶち店の1周年を祝う半額券を記載した情報紙「W  
EWE 77号」を直ぐに作成し地域誌に折込しました。スタッフ、ボランテ  
ィアはショップ周辺に3000枚手まきし広報に努めました。こぶち店スタ  
ッフは「心が折れそうになっていたが、応援して頂けてもうれしく励み  
になる」と更にショップ業務を頑張っています。「WEWE」配布後、新規の  
方の来店や、新規の寄付があったりと、「WEWE」発行が功を奏していま  
す。また、移転前の淵野辺からも「WEWE」を見た、友人連れでの来店  
がありました。W.Co 基金で助けていただき、支え合う組織、W.Co を実感  
しました。コロナ後も、人、物、社会を繋ぐ「WEショップ！」を進めてい  
きます。

WE21 ジャパン相模原 三池良子



2020年度  
W.Co 基金助成団体  
WE21 ジャパン相模原

今回はワーコレ基金の助成をしていただき、本当にありがとうございました。  
キッチン菜なは生活クラブの惣菜と地域への弁当配達で事業を行っていま  
すが、事業開始からなかなか安定した事業運営ができず様々な支援をいただ  
いて何とか経営を続けてきました。そんな折のコロナ禍。デポの惣菜売り上げは  
大きく減少はしませんでした。会議や習い事での弁当・運動会等の発注が軒並  
みなくなった事で売り上げが減少してしまいました。日々のワーク人数を減ら  
し、容器の回収も無くして時間短縮を行い、経費節約に努めています。今回頂  
いた基金は食材の仕入れ等の運転資金として使わせていただきました。まだ  
まだ困難な状況が続いて先が見えない状況ではありますが、地域でお弁当配  
達を待っていてくださる方々とデポに惣菜を買いに来てくださる組合員の皆  
様に感謝しつつ、惣菜・弁当をメンバー一同で作っていきたいと思います。

キッチン菜な 小畑照美



2020年度  
W.Co 基金助成団体  
キッチン菜な

W.Co ケアビーくるは、新型コロナウイルスの、前年度比50%以下の持続化  
給付金にわずかに及ばず、対象になりませんでした。移動サービスは医療へつな  
ぐ役割が大きく、感染率が高まっても通院や買い物、銀行・公的手続き等の生き  
ていくための生活の足として不可欠です。いくらコロナ感染のリスクがあつて  
も、サービスは続けなければなりません。国・県・市の公的資金公的援助がなく、  
事業高の落ち込みもある中で、感染対策を万全にするには、メンバー個人が自費  
でマスクなどを調達することもありました。そんな折、貴重なW.Co 基金を助成  
していただき、消毒薬、ペーパー、マスク、グローブ、体温計等、感染予防のた  
めのグッズを購入することができました。感染対策に万全はありませんが、公的  
援助はほとんどない中、メンバーの精神的・経済的負担も軽減され大変ありが  
たく助かりました。W.Co 基金の「W.Co がW.Co を生み育てる自前の助け合いの  
仕組み」に感謝いたします。

ケアビーくる 菅野待子



2020年度  
W.Co 基金助成団体  
ケアビーくる